



APPENDIX **A**

Cisco EnergyWise および Catalyst 4500 スイッチの使用

Catalyst 4500 スイッチでは、このマニュアルで前述のとおり、Cisco EnergyWise 機能をサポートしません。この付録では、Catalyst 4500 スイッチ固有の EnergyWise 機能について説明します。

Catalyst 4500 は、Cisco EnergyWise バージョン 2.6 以降の実行を切り替えます。

- ハイ アベイラビリティ
 - Cisco EnergyWise バージョン 2.6 をサポートする Cisco IOS リリースから EnergyWise をサポートしない旧ソフトウェア リリースへの ISSU ダウングレードを実行する場合、最初にスイッチの EnergyWise をディセーブルにします。
 - Cisco EnergyWise バージョン 2.6 をサポートするソフトウェア リリースから EnergyWise バージョン 1 をサポートするソフトウェア リリースに ISSU ダウングレードを実行する場合、最初にスイッチの EnergyWise をディセーブルにします。これは、EnergyWise バージョン 1 と EnergyWise バージョン 2.6 に CLI の互換性の問題があるためです。
 - Cisco EnergyWise バージョン 2.6 をサポートする Cisco IOS リリースから EnergyWise をサポートしない旧リリースに ISSU ダウングレードを実行する場合、スイッチ コンフィギュレーションから **snmp-server enable traps energywise** グローバル コンフィギュレーション コマンドを削除してください。
 - Cisco EnergyWise バージョン 1 をサポートするソフトウェア リリースから Cisco EnergyWise バージョン 2.6 をサポートするソフトウェア リリースに ISSU アップグレードを実行する際、実行されているコンフィギュレーション上の EnergyWise の設定がアップデートされます。スイッチにより、**energywise domain** コマンド内の同一ドメイン パスワードとして管理パスワードが設定されます。**copy running-config startup-config** 特権 EXEC コマンドを入力して、コンフィギュレーション ファイルに EnergyWise 設定を保存してください。
- ステートフル スイッチオーバー (SSO) モード
 - SSO モードで稼働している冗長シャーシでは、**energywise neighbor hostname udp-port-number** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用できません。ホストの IP アドレスを指定するには、**energywise neighbor ip-address udp-port-number** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用してください。



(注)

ドメイン メンバーで Cisco EnergyWise バージョン 2.6 以降を実行し、ドメイン メンバーの互換性の問題によって Cisco EnergyWise バージョン 1.0 にダウングレード必要がある場合は、**no energywise domain** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力して EnergyWise をディセーブルにしてから、EnergyWise バージョン 1 をサポートするリリースにソフトウェアをダウングレードします。

詳細については、「[CLI の互換性](#)」(P.2-3) を参照してください。

